

仕 様 書  
( メディカルシーラー 一式 )

下記条件を承知し、阿賀野市財務規則に基づき入札してください。

1	調達物品名及び要件		
1-1	件名	メディカルシーラー 一式	
1-2	製品名	MS-452THP3(株式会社 ホギメディカル)	
1-3	物品の構成内容	下記「3・メディカルシーラー 一式 機能仕様」記載内容 による	
2	技術的機能及び要件		
2-1	契約後、下記「3・メディカルシーラー 一式 機能仕様」 で示した機能及び性能等要件を満たしていないとあがの市 民病院が判断した場合、あがの市民病院の指示に従い納 入期限までに要件を満たすこと。		
2-2	契約後、納品までの間に改良版や後継機が発売された場 合、速やかに対応すること。		
3	メディカルシーラー 一式 機能仕様		
3-1	メディカルシーラーについては以下の要件を満たすこと。		
3-1-1	長時間の使用でもシール仕上がりを一定に保つ加熱温度 コントロール機構を装備していること。		
3-1-2	加熱温度設定可能範囲90℃～200℃,冷却温度設定可 能範囲90℃～200℃であること。		
3-1-3	シール条件を5パターン登録・保存できること。		
3-1-4	内容物を確認しながらシール出来る上部ヒーター機構で あること。		
3-1-5	滅菌日、使用期限、ロット番号、製造番号をシールと同時 に印字できること。		
3-1-6	製造番号のナンバリング機能があること。(0001～9999)		
3-1-7	使用期限設定は0日(シール日)から365日後まで1日単 位での設定が可能であること。		
3-1-8	オートカレンダー機能を搭載していること。(西暦、和暦切り 替え可能)		
3-1-9	ロット番号(英数字、スペース)を最大5文字まで登 録、印字可能なこと。		
3-1-10	滅菌バックのフィルム面に印字すること。		
3-1-11	シール回数のわかるカウンターを装備しているこ と。		
3-1-12	タッチスイッチを軽く押すだけの操作でシール作業 ができること。		
3-1-13	サーマルプリンターをOFF設定にすると印字せずにシ ールのみを行うことができること。		
3-1-14	誤って指・物を挟んだ場合約0.8秒でエラー表示し圧着レ バーが初期状態に戻る。		
3-1-15	加熱オーバー(ヒーター部通電4.5秒以上)が発生した場合 主電源がオフになること。		
4	設置要件		

4-1	設置場所		
4-1-1	あがの市民病院が指定する各諸室に設置すること。		
4-2	装置の搬入・工事・据付・調整は、以下の要件を満たすこと。また、その費用は入札金額に含むこと。		
4-2-1	装置の搬入・工事・据付・調整は、診療業務に支障をきたさないよう、日時等を発注者と受注者との協議して定めるものとする。		
4-2-2	装置の搬入・工事・据付・調整は、搬入経路・各諸室内設置場所・資材置き場等の必要な養生を行い、建物及び物品及び備品などに損傷を与えないように十分に配慮すること。また、万が一損傷をきたした場合には、発注者と受注者との協議して定め、受注者が責任を持って現状復帰すること。		
4-2-3	装置設置に伴い必要となる工事及び機器搬入の方法は、事前確認及び発注者の承諾が必須条件であり、あがの市民病院担当者との事前調整を行い、その承諾を得てから実施すること。		
4-3	あがの市民病院の既存機器の撤去及び廃棄費用は入札金額に含むこと。		
5	保守管理体制		
5-1	本装置設置後、発注者の検収を受けた日より1年間の間は無償修理及び交換(人件費を含む)期間とすること。また、本システムが正常に動作するよう1年間は無償で定期的に点検及び調整を行うこと。		
5-2	障害発生時には、復旧のための連絡を受けてからすみやかに現場対応ができる体制を整えること。		
5-3	障害発生時の緊急連絡先情報を作成し、あがの市民病院担当者に提出すること。		
6	その他		
6-1	マニュアル・操作訓練体制等は、以下の要件を満たすこと。		
6-1-1	装置の取扱説明書(操作マニュアル)は、各機器の日本語版を2部用意すること。		
6-1-2	バージョンアップ等により操作方法に変更が生じた場合には、その都度変更部分のみ最新版に差替えるか、あるいは最新版マニュアルを提出すること。		
6-1-3	装置の取扱いに関する教育訓練等は、日時・場所・回数をあがの市民病院担当者と受注者との協議して定め、あがの市民病院関係者が万全の体制で治療を開始できる内容で実施すること。		
6-1-4	装置の運用を円滑にするための技術的なサポートを適切に行うこと。		
7	納入期限		
7-1	本装置は、2024年3月31日までに納品すること。 (ただし、諸般の社会情勢や市場状況を鑑み、受注者の責めに帰さない事由により期限までに納入することが困難になった場合は、納期変更について、契約後に協議により対応する。)		